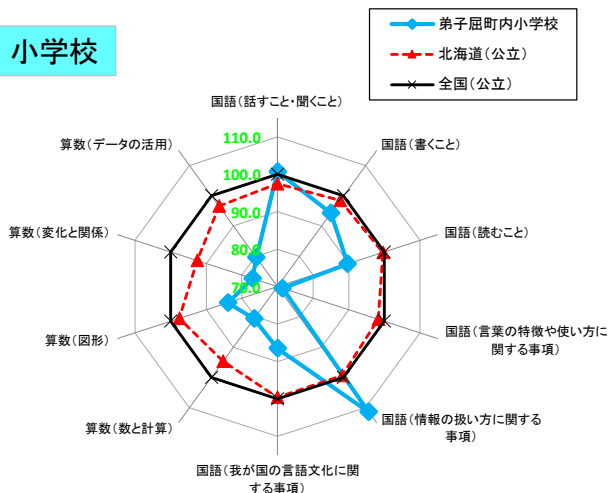


■ 弟子屈町内の状況及び学力向上策（小学校数:3校、児童数:31人）（中学校数:2校、生徒数:25人）

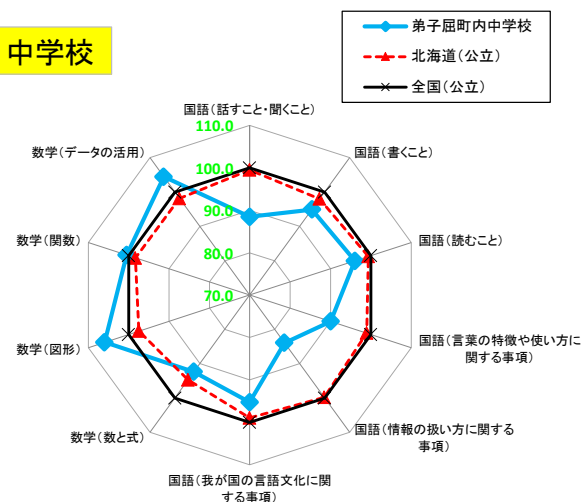
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 （市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

小学校

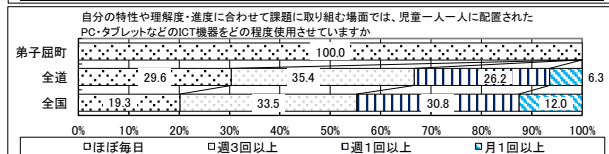
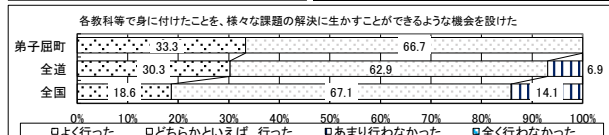
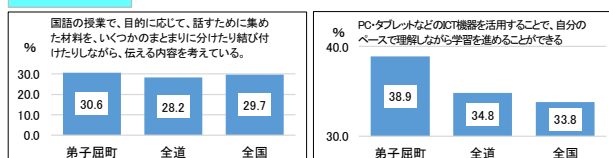


中学校

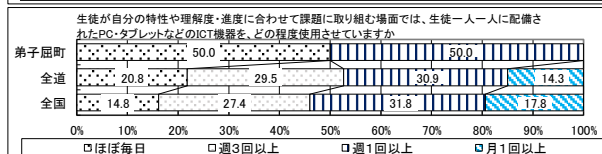
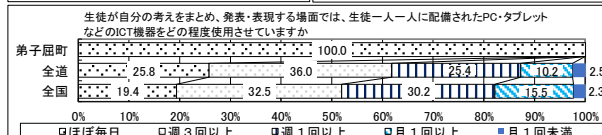
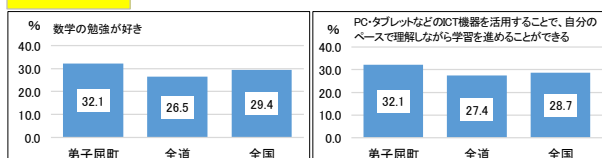


【質問調査の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校
各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けたことにより、国語の授業で、目的に応じて話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったとともに、国語の「話すこと」の領域で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。
ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る校内研修を通して、児童の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校
生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用させるなどの授業改善を推進したことにより、数学の勉強が好きと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったとともに、数学の3領域で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。
ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る校内研修を通して、生徒の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む1人1台端末等の活用を推進したことにより、PC・タブレットなどのICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【弟子屈町の学力向上策】

- ◎ 各調査結果を活かした学習指導の工夫改善等、町や各学校の学力向上プランの着実な推進による学力向上サイクルの確立
- ◎ 学校、家庭における、各種調査結果及びメディア利用に係る課題の共有による生活習慣の改善及び学習習慣の確立
- ◎ ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に係る校内研修の推進による教職員の資質能力の向上
- ◎ 町の子ども読書活動推進計画に基づく、関係機関・団体と連携した読書の習慣化に向けた取組の推進

